

ながはた

## 長畑ひろのり News



ご意見は次の e メールアドレスへ  
公式HP & ブログは次のURLへ

sky@nagahata.jp  
http://nagahata.jp

phone：072-878-3205  
fax：072-877-1194

## こんにちは、市政報告です！

3月11日の東北地方太平洋沖地震大震災により、亡くなられた方々のご冥福をお祈り申し上げます。また、被災された地域の皆さまに心よりお見舞い申し上げます。

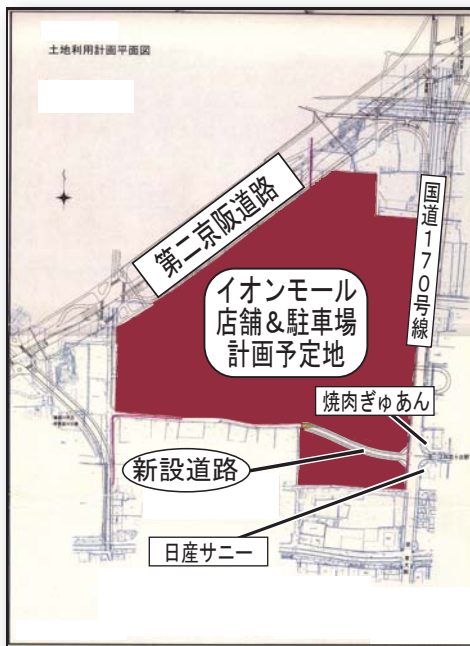
今後は、東北地方の復興へ向けて、我々の住む大阪を中心に関西が日本の経済を立て直す勢いで頑張らないといけません。今こそ政治の力が必要です。いよいよ、地域から日本を変える、地域主権が試される時が来たと考えます。

## 「砂地区イオンモールの敷地」について

右隣にあるイオンモール計画予定地を示した位置図は、2009年3月1日に発行しました長畑ひろのりNews vol.021に載せたものです。

その後、本市は位置図内に示されている新設道路にかかる必要な予算21億円の半分の負担をイオンモール側へお願いしました。しかし、イオンモール側の答えは「新設道路は生活道路負担する理由がない」と断られ、かつ、イオンモール側が計画していた新設道路から南側の駐車場も計画から外しました。誘致すると市長が言っていることと相反する頼みごとに、議員であった私は正直驚きました。誘致どころか10億5千万円もの負担のお願いをするとは・・・と言うことです。

それから私が市長選挙出馬のために昨夏に議員を辞職するまでの間、イオンモールの計画について説明を受けたのは、国道170号線沿いの土地全ての確保が困難で、仕方なく歯抜け状態で計画を進めると言う内容のみでした。



しかし、私は所用で出席できなかったのですが、今年の2月28日に砂公民館において「市長との地域懇談会」が行われました。後日、その懇談会の中の項目であったイオンモール説明時に配布された資料を見て

驚きました。配布資料をスキャンしたので見にくいですが、上の計画予定地の位置図と左にある位置図を比べて見て下さい（縮尺はだいたい合わせています）。国道170号線沿いが、以前説明を受けた歯抜けどころか北側が計画より大きく削られていたのです。



当初の敷地面積は186,000㎡と公表されていました。位置図で言えば、左に示した計画予定地そのものの数値です。そして、現在の敷地面積は140,000㎡です。当初の計画より約25%の大幅な縮小となっています。

昨年12月1日に発行した長畑ひろのりNews vol.040で私は砂地区に計画されているイオンモールの当時わかっている範囲の数字を載せました。商業施設面積については、当初の87,050㎡より約10%縮小された78,000㎡になったこと。これは映画館が計画から外された分と考えています。それでも大日にあるイオンと比べて遜色ない非常に大きなものです。しかし、駐車台数は当初の5,140台から約22%も減った4,000台になっているのです。これが北側敷地の削られた結果だと考えられます。これにより、道路の渋滞が発生するのではないかと危惧しています。

ただ、北側が削られた為、寝屋川市側への建設より本市へ建設される可能性が高くなり、イオンモールが営業したと仮定すれば、本市への税収は少し増えることになるでしょう。

